

1 題材名

『モンゴル軍と戦った千葉氏』 <1年生 歴史分野 「モンゴルの襲来」>
～元寇がもたらした影響を千葉氏の動向から見る～

2 授業のねらい

- ①鎌倉時代の大きな対外戦争としてよく知られている「元寇」に千葉氏も関わっていたという事実を学習して、千葉氏をより身近な存在としてとらえさせたいと思います。
- ②元寇は御家人の生活苦に拍車をかけ、それが幕府への反感となって鎌倉幕府が弱体化する要因となりました。千葉氏を例にして鎌倉幕府の衰退・滅亡につなげる学習です。
- ③元寇後の千葉氏の分裂や内紛等の詳細には深入りせず、次の3点が伝わればよいと考えています。
 - 九州に所領を持っていたため呼ばれ、実際に戦ったり、警備にあたりたりした
 - 結果として分裂、内紛を招いた
 - 千葉氏など御家人の生活苦や反発が、鎌倉幕府の弱体化・滅亡につながった

3 指導計画上の位置付け

◇1時間扱い

◇第3章：中世の日本 2節：ユーラシアの動きと武士の政治の展開

モンゴルの襲来の代わりに、あるいは直後に扱える内容です。

4 予想される授業の流れと指導資料

- ①モンゴル帝国及び元寇の概略を学習します。
 - *チンギス・ハン、フビライ・ハン
 - *文永・弘安の役
 - *集団戦法、火薬、防壁、暴風雨（神風）
- ②千葉氏の実際の関わりを資料で確認します。
 - *当主・千葉頼胤が九州に派遣される
『九州に所領を有する御家人の当主が出向け！』
肥前国小城郡（現在の佐賀県小城市）を所領、文永の役で戦闘参加、その時の傷が原因で死亡
 - *後任として頼胤の長男・宗胤が九州に派遣される
博多の警備、九州に新たな領地、大隅国守護の地位、長引く現地赴任（3度目の来襲に備え）
 - *本拠地の下総では弟・胤宗が実質的に当主を引き継ぐ
- ③その後の千葉氏の内紛・分裂と、鎌倉幕府が弱体化する要因でもある御家人の反発・衰退を絡めて考察します。
 - *兄弟間（及びその子の代）の当主争い（宗胤—胤貞 vs 胤宗—貞胤）という事実
 - *御家人の生活苦、幕府（北条氏）への反感
元寇の出費、少ない恩賞、分割相続、徳政令も失敗・・・

<活用する主な資料>

- ◎東アジア地図 ◎フビライの国書 ◎蒙古襲来絵詞 ◎永仁の徳政令
- ◎その他元寇関連資料 ◎千葉氏の九州の所領の地図
- ◎『千葉氏入門 Q&A』（本館作成のブックレット）

5 指導上の留意点、その他

- ◇資料を効果的に提示してヒントを多く与え、生徒が考える形を目指します。
- ◇モンゴル帝国・元寇から鎌倉幕府滅亡まで一通り学習をしたあとに、エピソード的に千葉氏を取り上げる形への変更も可能です。